

きいてナース みてなース

市立福知山市民病院

所在地

620-8505

京都府福知山市厚中町231番地

TEL:0773-22-2101 FAX:0773-22-6181

ホームページ

<https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/hosp/>

～一度私たちの病院に来てみませんか？～

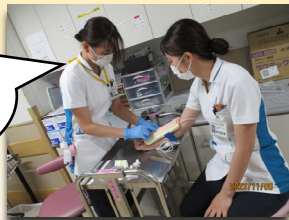
第54号 発行日:令和5年11月30日

インサイト試験 に向けて頑張ってます！！

末梢静脈留置針(インサイト)について

・当院では、患者様に正しく安全に静脈注射が提供できるよう、知識・技術の試験を毎年行っています。仕事終わりに各病棟の先輩に技術練習をみてもらい、指導を受けながら試験合格に向けて取り組んでいます。筆記試験前には講義・デモンストレーション講義を受け、教育の充実を図っています。

実際に先輩の腕で練習させてもらったので、緊張したけど、インサイトする時のイメージがしやすかったです。



～インサイト試験後の感想～

- ★普段、先輩方があたりまえのようにインサイト留置しているが、こんなに難しいと思わなかった。経験を積んで上達できるように頑張っていきたい。
- ★先輩方が手順通りにしっかりとみてくださり、アドバイスしてくださったので、自信をもって試験に挑むことができた。
- ★勤務後も先輩方に指導していただいたので、質問しながら技術練習できたので、安心した。

新人さんに
アンケートをとってみました！

新人さんの声



入職してから今までで印象的だった出来事は？

- ・急性期なので、しばらく受け持たない間に、患者さんがものすごく回復されていたり、反対に状態が悪くなってしまう患者さんもいて、日々の関わりがすごく大切だと感じています。重症患者さんの対応はとても不安が大きく、印象に残っていますが、焦らず一つ一つ観察し、先輩に報告することが大切だと気づきました。
- ・時間外の研修が少なく、業務内で研修を終わらせる事ができる。
- ・行った洗髪援助をととても喜んでくれたこと。
- ・患者さんとの関わりの中で、少しの気づきかいが患者さんにとっては、すごく嬉しい事に繋がるのだと知った。「ありがとう」という言葉で、またがんばろう！と思った。
- ・患者さんに質問をいただく事がとても多いです。薬の事から介護制度の事で幅広い知識が求められると実感しました。入院中、看護師は、一番長く患者さんのそばに居るからか、質問をしやすだけでなく、思いを表出しやすい存在なのだと感じます。患者さんが安心して思いを表出し、治療を受けられるような関わりをしていきたいです。
- ・採血をした時に患者さんから「上手やね」と褒めてもらった時に、もっと技術をみがいて、苦痛が少なくなるようにしたいと思いました。
- ・人工呼吸器や補助循環で治療する患者さんの姿を、その方々が回復して会話や歩行ができるようになるまでを見守れたこと。

ふれあい看護体験

8月5日(土)開催しました！

コロナ禍で中止となっていた、ふれあい看護体験が4年ぶりに開催！看護職に興味のある高校生20名が参加されました。初めに、病院の紹介があり、その後看護部が中心となり、病院内各部署の見学、バイタルサインの測定や心肺蘇生、高齢者体験などを行いました。参加された学生さんからは、「看護師になりたい気持ちが高まりました。」「働いている人達と患者さんの距離が近くて、良い病院だと感じた。」など、嬉しい感想も沢山いただきました。

胸骨圧迫大変
でした。。。



ヘリポートからの眺めは最高！



新生児体験



★「インターンシップ」のご案内★

場所:市立福知山市民病院

日時:令和5年12月22日(金)

※詳しくは病院ホームページに掲載しています
ご参加お待ちしております！

夜勤についての感想

- ・1人で沢山の患者さんを受け持つ不安がありますが、リーダーさんや他チームの先輩に教えていただきながら頑張っています。まだまだ不安が大きいです。情報を時系列にメモしておくなど、工夫しながら頑張ります。
- ・最初は身体を夜勤のリズムに合わせていけるか心配でしたが、勤務中は多くの患者さんを受け持つという責任感から目が冴えています。長時間の勤務になりますが、無事朝を迎えた時の達成感もひとしおです。
- ・日中よりも少ない人数での体制のため緊張しますが、夜間に安心して眠れるよう患者さんの環境を整えることが大切だと学びました。
- ・夜間は落ち着いているため、日中よりもゆっくり授乳を見れる。ケアの方法を学んだり、より良いケアの提供につながり、やりがいを感じる。(助産師)

技術トレーニングの感想

- ・早く技術を身につけて患者さんにリスクや苦痛のない技術を行える看護師になりたいと思う。
- ・先輩が「私の腕を使いな～」と言ってくれたり、一緒に練習をしてくださります。安心・安全に医療が提供できるよう頑張りたいです。
- ・同期や先輩方と繰り返しトレーニングをしていくうちに、感覚が身についてきたような感じがしています。「ここをこうした方がもっとよくなる」「こうしたらやりやすい」など、臨床で経験を積んだ先輩方のアドバイスはとても参考になる。
- ・模擬の血管での練習を行い、更にチェックテストを実施して頂き、実際の患者さんを想定したテストで自分ができていること、注意した方がよいことを指摘いただきとても有り難かったです。トレーニングすることで、患者さんに実際に行う前に手技獲得でき、とても安心して臨むことができました。